## 水草研究会会報投稿規定

- 1. 投稿は本会会員に限る. 但し, 本会が依頼した場合はこの限りではない.
- 2. 原稿内容は、水草\*に関する調査、研究報告、 解説(総説)、短報、諸資料、諸情報、エッセイ、他とする. なお原稿の内容に疑義のある場合は、書き直しを求めることがある.
- 3. 原稿作成にあたっては、以下の諸点に留意する.
  - A. 原稿は横書き原稿用紙に楷書するか, ワープロ(和文タイプ)を用いる.
  - B. 原著に相当する報文には著者名及びタイトルの英語を併記すること. また, 著者が必要と認めた場合は, 英文摘要(Abstract)をつけることができる.
  - C. 図は活字の貼り込みをのぞき、そのまま製版できるように仕上げる。図(写真含む)の右上または裏面に、図の番号と著者名を書き、説明は別紙に一括する。表は別紙に書く。表の説明は各表の上側につけ、必要に応じ、下

に注をつける.

- D. 文献の引用は、文献番号ではなく、著者名 と年号を明記する.
- (例) 『三木(1937) は、…』『…である(三木,1937)』. また、文末の引用文献は、最近号の例にならって、著者の姓名のアルファベット順に配列する.
- 4. 掲載の順序と体裁,並びに校正は編集担当者 に一任のこと. なお,特に希望する点があれば 申し出る.
- 5. 別刷を必要とする場合は,投稿時に必要部数 を申し込むこと(50 部以上,50 部単位). 費用 は著者負担とする.
- 6. 送稿や編集に関する通信は,〒657-8501神 戸市灘区鶴甲1-2-1神戸大学理学部生物学 教室 角野康郎宛とする.

\*ここで言う水草は狭義の水草に限定せず、広く湿地や水辺の植物なども含むものとする.

## ~~~~ [ 編集後記 ]~~~

今回は余白を埋める原稿をまとめる余裕もなく、急いで発行する羽目になりました。紹介したい新刊書等がいくつかあったのですが、次号回しにします。

さて、冒頭の原稿は、静岡県学生科学賞に応募されたレポートを書き直していただいたものです。内容を大幅に絞っていただいた上に、編集の都合上、多くの図や写真を割愛せざるを得ませんでした。また、もとの図はカラーで見栄えのするものでしたが、モノクロでのプリントアウトをお願いしたために少し見づらくなったものがあります。重ねてお詫びします。高校のクラブ活動でこれだけのことができるんだという希望を感じさせてくれる一方で、全国的にいわれる生物部の低調さは静岡高校でも例外ではなさそうです。"現部員は $2 \sim 3$ 年生のみで1年生の部員がおりません。…このまま来年度に移行すると、ミクリより早く生物部が絶滅してしまいます。"一緒にお送りいただいた生徒会機関誌の記事「絶滅危惧のミクリと生物部」の中の一文です。高校生時代は自分の世界が広がり能力もいちばん伸びる時期だといわれます。人間の世界にも「絶滅危惧種」が多すぎる現実、何とかならないでしょうか。

水草研究会には最近、若い方の入会が相次いでいます。 意欲ある若者の努力が 形になるように力になることが研究会の一つの努めと考えています。 完璧である 必要はないので、調査の成果や考えていることを、ぜひ会報に寄稿してみて下さ い

では皆様、暑い夏を元気に乗り切りましょう.

(角 野)

## 水草研究会会報 70号

2000年7月25日印刷 2000年7月30日発行

発 行 水 草 研 究 会 〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1 神戸大学国際文化学部生物学教室 角野研内 TEL (078) 803—5719 FAX (078) 803—5719

印 刷 中村印刷株式会社 〒657-0035 神戸市灘区友田町3-2-3